

# 天体形成研究会 2020

11月6日（金）－11月7日（土）

講演時間: 講演 + 質疑応答

招待講演: 20分 + 10分

M2: 20分 + 10分

B4: 15分 + 5分

それ以外: 15分 + 5分

## 1日目－11月6日（金）

### セッション 1 9:00－10:15

座長: 小川 拓未, 武者野 拓也

9:00－9:10 梅村 雅之 (筑波大学) はじめに

9:10－9:40 内海 碧人 (筑波大学, M2) カー・ブラックホールをもつ超臨界降着円盤の一般相対論的輻射磁気流体力学シミュレーション

9:40－10:00 人見 拓也 (筑波大学, B4) ブラックホールまわりのガス観測によるスピンパラメータの測定に向けて

10:00－10:15 休憩

### セッション 2 10:15－12:45

座長: 朝比奈 雄太, 武者野 拓也

10:15－10:45 郡 和範 (高エネルギー加速器研究機構) Cosmological accretion on to the primordial black hole + CDM halo system

10:45－11:15 谷川 衝 (東京大学) ブラックホール連星形成の理論的研究

11:15－11:45 井上 壮大 (筑波大学, M2) 超臨界中性子星降着流の一般相対論的輻射磁気流体力学シミュレーション

11:45－12:45 昼食

### セッション 3 12:45－14:10

座長: 原田 直樹, 高橋 幹弥

12:45－13:15 大滝 恒輝 (筑波大学, M2) 銀河衝突によるダークマター欠乏銀河の形成：質量依存性について

13:15－13:35 田中 駿次 (筑波大学, B4) 天の川銀河衝突シミュレーションに向けて

13:35－13:55 須永 泰聖 (筑波大学, B4) Galactic Habitable Zone について

13:55－14:10 休憩

### セッション 4 14:10－15:55

座長: 菊田 智史, 佐藤 大樹

14:10－14:40 赤堀 卓也 (国立天文台) 不死鳥は甦るか？－冷えた銀河団の中心で生まれた若いジェットを発見－

14:40－15:10 小山 紗桜 (新潟大学, M2) ALMA データを用いた銀河進化の研究

15:10－15:40 柴田 和樹 (筑波大学, M2) 近傍銀河 NGC 3627 における星形成効率の多様性とその起源の探究

15:40－15:55 休憩

## セッション 5 15:55 – 17:25

座長: 曾我 健太, 大滝 恒輝

15:55 – 16:25 中井 直正 (関西学院大学) AGN の水メーザー観測によるハッブル定数の決定

16:25 – 16:55 和間 雄司 (筑波大学, M2) ISM における AGN ジェットによる乱流駆動

16:55 – 17:25 山本 剛大 (筑波大学, M2) AGN フィードバックとモレキュラーアウトフローの理論的探査

## 2 日目 – 11 月 7 日 (土)

## セッション 6 9:00 – 10:15

座長: 安倍 牧人, 尾形 絵梨花

9:00 – 9:20 山本 昌平 (筑波大学, B4) 原始惑星系円盤における乱流とダスト成長

9:20 – 9:40 坂和 孝英 (筑波大学, B4) 星形成領域における酸化プロピレンのキラリティ生成過程

9:40 – 10:00 益川 洋武 (筑波大学, B4) アミノ酸ホモキラリティーに関わる星間円偏光の生成

10:00 – 10:15 休憩

## セッション 7 10:15 – 12:25

座長: 高水 裕一, 秋葉 健志

10:15 – 10:45 倉西 嶺人 (筑波大学, M2) 相対論的輻射流体計算による相対論ジェットの終端速度の光学的厚み依存性の研究

10:45 – 11:05 尾形 絵梨花 (筑波大学, M1) Super-Eddington 天体に対する dusty-gas の Hoyle-Lyttleton 降着過程

11:05 – 11:25 佐藤 大樹 (筑波大学, M1) ヒト頭部の光音響イメージングに向けた光音響波伝搬シミュレーション

11:25 – 12:25 昼食

## セッション 8 12:25 – 13:50

座長: 阿左美 新也, 石崎 滉也

12:25 – 12:55 桐原 崇亘 (甲南大学) SPH 計算を用いた相互作用星の合体条件の解明

12:55 – 13:15 井上 茂樹 (筑波大学 / 国立天文台) Fragmentation of ring galaxies

13:15 – 13:35 福島 肇 (筑波大学) 輻射流体シミュレーションによる星団形成

13:35 – 13:50 休憩

## セッション 9 13:50 – 15:35

座長: 井上 茂樹, 数野 優大

13:50 – 14:20 西 亮一 (新潟大学) Gaia DR2 を用いた星形成領域の解析

14:20 – 14:50 石倉 来実 (新潟大学, M2) Gaia DR2 を用いた Orion OB1 アソシエーションの解析

14:50 – 15:20 五十嵐 太一 (千葉大学, D2) AGN における X 線放射領域時間変動の輻射磁気流体シミュレーション

15:20 – 15:35 休憩

## セッション 10 15:35 – 17:05

座長: 福島 肇, 牧野 和太

15:35 – 16:05 野村 真理子 (呉工業高等専門学校) ラインフォース駆動型円盤風の金属量依存性: 銀河-SMBH 共進化への影響

16:05 – 16:35 高橋 幹弥 (筑波大学, M2) ブラックホール周囲の測地線に基づく一般相対論的輻射輸送計算コードの開発

16:35 – 16:55 武者野 拓也 (筑波大学, M1) ライマンアルファ光子の輻射圧を考慮した輻射流体力学シミュレーション

16:55 – 17:05 梅村 雅之 (筑波大学) まとめ